

東京都議会議員

両

角

穰

もろずみみのる

東京都議会議員

かがやけ
Tokyo

都政Report

レポート



2016年秋号 2016年9月発行

●両角 穰 (もろずみ みのる)

八王子生まれ・八王子育ち。明治大学政治経済学部政治学科卒、埼玉大学大学院政策科学研究科修了〔公共政策修士〕。八王子市職員、横浜市職員、八王子市議会議員（4期）を経て2013年より東京都議会議員（1期目）。都議会では、総務委員会委員、警察・消防委員会理事、オリンピック・パラリンピック推進対策特別委員会委員、東京都都市計画審議会委員などを歴任。現在、かがやけTokyo幹事長、都議会厚生委員会副委員長、東京都住宅政策審議会委員、東京都都市づくり公社評議員などを務める。

f Facebook

twitter

もろずみみのる

検索 Q



東京からカエル!!

芸術の秋、スポーツの秋、読書の秋、食とおしゃれの秋。日一日と秋の深まりを感じますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、このたびは、公私混同問題で辞職した舩添前知事の後任として、初の女性都知事となった小池百合子新知事を迎えての都政の動きを中心にお伝えします。

両 角 穰

小池知事とともに東京大改革を推進していきます!



知事室で都政改革について意見交換

1 都政史上初の女性知事誕生!

舩添前知事の公私混同問題による知事辞職に伴う都知事選挙が7月31日に実施されました。選挙戦は、自公推薦の増田寛也候補、野党4党推薦の鳥越俊太郎候補、政党推薦無しの小池百合子候補の実質、三つ巴の激しいものとなりました。その結果、小池候補が次点に110万票以上の差をつけ圧勝し、都政史上初の女性知事が誕生しました。

かがやけTokyoは、告示前に記者会見を開き、会派として小池支持を明確に打ち出しました。両角も陰に陽に選挙戦を支えました。



八王子駅前での街頭演説会

2 都政改革本部が発足!

8月2日に初登庁をした知事は、精力的に関係機関への挨拶回りや都内視察を実施するとともに、リオデジャネイロ・オリンピックの閉会式に出席。リオ市長からオリンピック旗を受け取り、次期五輪開催都市として東京を世界にアピールしました。

また、公約に掲げた「都民ファースト」、「東京大改革」を強力に推進するための都政改革本部を発足させました。都政改革本部は知事を本部長として全庁横断的に都政課題の実態把握と評価・改善提案をおこなう組織で、副知事並びに全局長のほかに、外部メンバーとして慶応義塾大学教授の上山信一氏や元環境省地球環境審議官の小島敏郎氏などが参加しています。

当面は、①オリンピック・パラリンピックの経費や準備状況の検証、②情報公開の在り方検討を2大テーマとして取り組むことが示されました。都政の情報公開推進とともに都民の誰もが納得できる2020年大会になるよう私も努めてまいります。



初登庁する小池知事

■ 新知事を迎えての定例議会が いよいよスタート！

小池知事を迎えて初めての都議会定例会が、9月28日～10月13日の日程で開催されます。この定例会は都政運営についての知事の所信表明が示されるほか、緊急の待機児童対策のための補正予算案、延期の表明がなされた築地市場移転問題、東京オリンピック・パラリンピックに向けての都と国の役割分担問題などが焦点になる重要なものです。

政党や団体の支援によらず、一人ひとりの都民の皆さんの思いが集まり誕生した小池都政には、しがらみがありません。公約である「都政の透明化と東京大改革」に向けて大舵を振るうとともに、「ライフ・ワーク・バランスの推進」、「子育て支援の充実」、「多摩格差の解消」の実現に向けても大いに努めていただきたいと思います。

私たちは、こうした政策が前進するよう、しっかりと支援すべきは支援し、見守るべきは見守り知事を応援した議員としての役割を果たしてまいります。

「舛添問題」で都政が停滞。 舛添知事は辞職へ！

ファーストクラスやスイートルーム利用など度重なる高額な海外出張費への批判に端を発した「舛添問題」。その後、毎週末の公用車を利用した別荘通いや政治資金による家族旅行などが次々と明らかになり、新年度になると舛添氏が釈明に追われる状況が続きました。

この間、都庁には批判の電話が殺到し、6月都議会定例会は政策議論がなされることのない知事追及の場と化してしまいました。

私たち、かがやけTokyoは公私の区別ができず首都の政治行政を担う知事として著しく品位と資質に欠けるものとして、この問題を鋭く追及。率先して知事不信任案を提出し、その後の全会一致での不信任案提出へという流れを決定づけました。

最終的には、それまで舛添知事を支援・支持してきた都議会自民党、都議会公明党を含む全会派から知事不信任案が提

出される見通しとなり、舛添知事が自ら辞職を決意。6月定例会最終日の6月15日に全会一致で知事の辞職願に同意がなされ、舛添知事は失職しました。

ここに足掛け3か月にわたる「舛添問題」に1つの区切りが付けられました。しかしながら、この間、都政は停滞し、議員の士気は低下、都民の都政への信頼も著しく傷ついてしまいました。私たちは、今後とも海外出張経費の適正化や公用車の適正利用などについて、しっかりと取組み「舛添問題」のようなことが二度と起こらないよう努めてまいります。

都議会本会議で一般質問に立つ！

平成28年都議会第1回定例会で両角は一般質問に立ち、不登校問題、インバウンド政策、水辺環境問題、オリンピック経費問題などを質しました。

今回は、そのなかからいくつかをご紹介します。

社会問題化する不登校問題に 都は公民連携して取組め！

不登校児童・生徒の数は全国では122,897人と高止まり状態にあり、都内では10,079人（2014年度数値、文科省調査）と2年連続で増加しています。こうした状況を踏まえ、都教育委員会の不登校問題への認識を質しました。また、近年注目を集めているフリースクールの都内での実態把握の必要性和フリースクールも含めた関係機関連携による対策を訴えました。



フリースクール東京シュレを視察
奥地圭子理事長と意見交換

Q（両角議員）国は昨年初めてフリースクールの実態把握を行ったが、今後、都がフリースクールとの連携も含めて不登校対策を考えるのであれば、独自にその実態把握をすべきではないか。

A（教育長）都教育委員会は来年度にフリースクール等との情報交換の場を設けていくこととしており、文科省調査結果を生かしながら状況把握をしていく。

Q（両角議員）不登校対策を進めるには公民の連携強化が重要であり、早期に公民関係機関による協議会を立ち上げ、社会全体でこの問題に取り組むべきと思うが、今後の対応を伺う。

A（教育長）来年度、区市町村が学校や福祉関係機関と支援ネットワークを構築し家庭への訪問支援等を行うモデル事業を実施していくが、こうした取組みを推進していく。

インバウンド3,000万人時代に向けた 処方箋を示せ！

2015年の訪日客は1,973万人と予想を上回るペースで過去最高を更新し、インバウンド3,000万人時代が視野に入ってきました。

こうしたなかで、為替の状況に左右されずに「選ばれる観光都市東京」を築いていくための課題を質しました。



世界文化遺産登録がなされた国立西洋美術館
上野地区には内外からの来訪者が集う

Q（両角議員）2020年東京大会などを考えると、多種多様な人々が訪れる東京にあって、その宿泊ニーズに応えていくことは重要な課題である。大田区では民泊条例が制定されているが、こうした動きも含め、都は東京を訪れる人々の多様化する宿泊ニーズにどう対応していくのか。

A（産業労働局長）訪都客が増えるなか、外国人観光客の宿泊ニーズや地域の実情に応じ快適に宿泊できる環境を整えていくことは重要であり、宿泊施設のバリアフリー化、wifi利用の範囲拡大などを進めている。旅館業法の特例については各自治体へ大田区の事例紹介などに努めていく。

Q（両角議員）今後、為替の状況に左右されることなく「選ばれる観光都市東京」を築いていくことが大切。そのためにはインバウンドの恩恵を都内各地域、観光以外の産業へと広く波及させる取組みが重要であるが、現状と今後の展開は。

A（産業労働局長）都内の各地域で新たな観光ルートなどをつくりだすアイデアを民間のノウハウを活用して実現する取組みをしている。今後、このような取組みの支援を強化するなどし、都内各地の観光振興を進め地域経済活性化に結び付けていく。

マイクロプラスチック問題に取組み 水の都東京を復活せよ！

以前に決算特別委員会質疑でも取り上げたマイクロプラスチック問題を再度一般質問で取り上げるとともに、東京の魅力向上のための東京湾の水質改善に向けた知事の考えを問いました。



イメージ写真

Q（両角議員）昨年、都環境局が京浜運河で水質調査を行い、1㎡あたり16個のマイクロプラスチックが確認されたとのことだが、状況をより正確に把握するためには、さらに範囲を広げての調査が必要と思うが所見を伺う。

A（環境局長）都では東京湾のマイクロプラスチック調査を昨年、京浜運河で実施。今年度、環境省が湾内7か所で調査を実施しており、その結果も含め相互の情報交換に努めたい。

Q（両角議員）東京湾の水がきれいになり、水辺環境が改善されることで東京の魅力は一層高まる。水の都東京復活に向け、東京湾の水質改善を都政の重要課題と位置づけ、関係機関とも協力した取組みをすべきと思うが、知事の見解を伺う。

A（舛添知事）東京の快適な水辺環境を創出する上で東京湾の水質確保は課題の1つ。東京湾の水質は都以外の都市活動の影響も受けるため広域的対応が不可欠であり、国や九都県市を初め近隣自治体とも連携を図り、取組んでいく。

東京湾の水質改善やマイクロプラスチック問題については、従来から都の取組みが鈍いと感じていました。この分野でも環境問題に意欲的な新知事のリーダーシップに期待します。

※マイクロプラスチック

近年、世界的に、海洋を漂う5ミリ以下の微少なプラスチック片、マイクロプラスチックが新たな環境問題として注目されています。今年の先進7カ国環境相会合では、「海の生態系にとって脅威」との認識が確認されました。日本近海でも多数存在が確認されており、東京湾を抱える自治体として、この問題に関する都民の理解を深めるための啓発と実態把握が重要です。

写真で見る2016年の活動



1月
都立墨東病院の病児・病後児保育所の開所式に出席し施設を内覧



2月
厚生委員会の紹介番組のTV収録



3月
八王子市打越町土入立体開通式典に出席し、意見交換



4月
都立高校の入学式に出席し
学校関係者と意見交換



5月
会派で築地市場を視察し
関係者と意見交換



6月
公私混同疑惑で謝罪する舛添前知事



7月
東京都の水源林を視察し、森林ボランティアの方々と意見交換



8月
初登庁する小池知事を迎える

東京の元気と安心に向けて東奔西走！

現場感覚をもとに都政に切り込む！

「一兆、二兆って、 お豆腐屋さんじゃないんです！」 東京オリンピック・パラリンピックの 総事業費を把握し都民に公表せよ！

2020年の東京大会まで4年を切りましたが、大会経費は7,300億円とされていたものが「2兆円を超える」（森組織委員会会長発言）、「3兆円くらいになる」（舛添前知事）と当初見込みの3倍、4倍もの数字が踊っています。

しかも、実際に全体でどの位の金額になるのか、その上で都民負担はどの程度なのか確認しようにも、国も都も組織委員会も分からないという無責任な状況です。

今回の質問で、都が大会総事業費をしっかりと把握し都民に明らかにするよう迫りましたが、抽象的な言い回しに終始し、総事業費を把握するとの回答はありませんでした。



リオデジャネイロ・オリンピックでの
フラッグ・ハンド・オーバー・セレモニー

Q (両角議員) IOCに提出したオリンピック立候補ファイルには、大会運営資金が不足すれば、最終的には東京都が不足分を負担すると記されている。このことを踏まえれば、2020年大会の総事業費と公費負担の全体像を把握し、都民に公開していく必要があると思うが、見解を伺う。

A (オリパラ準備局長) 大会経費については、不断に精査するとともに、都民、国民に丁寧に説明し、理解を得ながら必要な事業を実施していく。

都政改革本部がオリンピック・パラリンピックの事業費を含め検証し明らかにしていくことになりましたので、速やかな把握と公表を期待します。全体経費が見えなければ、都（都民）の負担額も不明確なままなのですから。

根拠薄弱、不合理な都議会 定数は正条例が成立！

6月定例会では東京都議会議員の定数は正のための改正条例が成立しました。都議会議員の選挙も国政同様一票の格差が存在し、これまでも永らく問題となっており、定数は正が求められてきました。現在、都議会定数は127で、42選挙区ごとに定数1～8の都議会議員が選ばれています。

ところが、人口が多い市や区より人口が少ない市や区の方が議員定数が多いという「逆転区」が存在し、そうした例が13ありました。都選管が2015年の国勢調査人口をもとに計算したところ、6選挙区で定数を増やし、別の6選挙区で定数を減する（6増6減）ことで、これが解決されることが示されました。

そこで、私たちは、まずは「逆転区」を解消すべきと「6増6減」の改正案を共同提案しましたが、都議会自民党、都議会公明党から出された「2増2減」案が成立してしまいました。この結果、定数増となるのが町田（3→4）、北多摩3区＝調布市と狛江市（2→3）、定数減は、北区（4→3）、中野区（4→3）となりますが、これでは逆転区は解消されません。

是正が中途半端になってしまった結果、来年の都議会議員選挙は不合理な改正定数で実施されます。引き続き、抜本的な定数改正に向けた取組みが求められています。

トピックス

ポスト復旧

年初から「郵便ポストがなくなってしまい不便。なんとか復旧できないものか」というご要望を地域の方々からいただいていた。そこで、署名活動をおこない、日本郵便並びに八王子郵便局と折衝した結果、本郷町の八王子ミキ薬局、八幡町の織物組合、それぞれのご協力を得てポストを設置することができました。以前とは若干違うところへの設置ですが、地域の皆さんに親しまれるポストとして利用されればと思います。



本郷町ミキ薬局前（2月）



八幡町織物組合前
設置前と設置後（4月）

東京都議会議員 両角 穂 ちか もろずみみのる 都政報告映画会

夢見た未来と
ちがう今を生きて、
元家族の物語



© 2016 フジテレビジョン パンダビジュアル AOI Pro. ギャガ

是枝裕和
監督作品

海よりもまだ深く

カンヌ国際映画祭出品作品

日時 平成28年 11月19日(土) 午後1時受付開始／午後1時30分開会

場所 オリンプスホール八王子 会費 1,000円（全席自由、事前チケット制）

申込み 映画鑑賞ご希望の方は、下記の両角事務所あてに、メール又はFAX、電話にて氏名、住所、電話番号と必要チケット枚数をお知らせください。

問合わせ 両角みのる事務所 TEL: 042-620-8155 / FAX: 042-620-8177
e-mail: hachioji.m@gmail.com

都政のこと、八王子のこと…
皆さんの声をお寄せ下さい。

連絡先

東京都議会議員 もろずみみのる 事務所

〒192-0051 八王子市元本郷町1-18-2 木下ビル2階

電話: 042-620-8155、FAX: 042-620-8177 e-mail: hachioji.m@gmail.com



東京からカエル!!